

## 学術フォーラムの概要について（事後報告）

1 名称：エネルギー科学技術教育の現状と課題

2 日本学術会議以外の共同主催団体等：

- ・共催：日本エネルギー環境教育学会、日本エネルギー学会「エネルギー学」部会、  
関東甲信越エネルギー教育地域会議会

3 開催日時：平成30年9月8日（土） 13時30分～17時30分

4 開催場所：日本学術会議 講堂

5 開催趣旨：

クリーンで経済的なエネルギー供給は現代社会の基盤であり、地球温暖化問題とも密接な関係があり、人類社会の持続可能な発展を支える重要な柱である。しかし、エネルギー問題は、科学・技術分野から社会・経済分野まで広範囲の学術に関わる大変複雑な問題であるため、総合的な把握が必要にも拘らず、一般には部分的にしか理解されていない。エネルギーに関する学校教育をはじめ社会全体を対象とした教育の問題が重要であり、またエネルギー科学技術と社会との接点をどう作っていくかを検討する必要がある。そこで、社会的視点も含めて、エネルギー科学技術に関する教育の課題について、現場で教育を行っている先生方の講演等に基づき、エネルギー問題にかかわる学術から社会への情報発信を効果的に行うために何をすべきかを考えることを目的に開催した。

6 参加人数：

講演者等：8名

その他の参加者：70名程度

7 特記事項：

- ・『学術の動向』への関連記事の掲載を行う予定
- ・9月11日付けの電気新聞が本フォーラムの概要を掲載
- ・総合工学委員会エネルギーと科学技術に関する分科会において、このフォーラムの議論を参考にしながら、意思の表出へのとりまとめを念頭にしつつ審議を行っていく予定